

# 大型連休に歩崎で多彩なイベント ～郷土資料館で入館者 70 万人を達成～



大竹教育長から入館 70 万人目の記念品を受け取る吉田さん



【上】水族館「世界の昆虫展」  
【下】「どうしても着たかった」と郷土資料館に付けてくださった女性

5月 3～5日

郷土資料館（昭和62年開館）は、大型連休中の5月4日、入館者70万人を達成し、教育長から入館証明書と記念品の霞ヶ浦帆引き船模型が贈られました。70万人目となった阿見町の吉田陽子さんは、「家族で水族館を見学後、初めて資料館に遊びに来ました。偶然来たのに70万人だったのでびっくりしました。」と話してくれました。

大型連休は連日好天にも恵まれ、箏・大正琴の演奏披露、抹茶の野だて、甲冑試着体験が行われ、水族館では「世界の昆虫展」「白いうなぎ」の展示もあり多くの人でにぎわいました。また、湖上では、帆引き船が特別操業。「模型は飾っているが、間近で見たのは初めて」と観客から喜びの声が聞かれました。

CLOSE UP



南中「立志」霞ヶ浦一周行事实行委員長  
**山口郁也**さん（2年生）  
YAMAGUCHI HUMIYA

「挑戦」の  
気持ちを持って

昨年度、僕はスキー宿泊合宿の実行委員長を引き受けました。その時に、みんなの中心となって活躍する素晴らしいことや、大きな事を成し遂げた後の充実感を味わうことができました。だから、この霞ヶ浦サイクリングでも、実行委員長になり  
たいと思います。立候補しました。  
一周する前は、楽しみはも  
ちろんありまし  
たが、全員が100キロ完走できるの  
か、不安の方が大きかったです。  
でも、僕たちには10人程度のグループに一台、保護者の軽トラの「サポートバイク」がついてくれました。また、道の途中には、おやつやフルーツの準備

嬉しかったこと

「全員で完走できたこと」

備をしてくださる方、一緒に走りながら元気づけてくださる方、道案内や危険箇所を立てくださる方など、たくさんの方の協力がありました。だから、苦しくても笑顔で気持ちよく走りきることができました。一人の脱落者もなく、全員ゴールできたときには、満足感で一杯になりました。実行委員長を引き受けて  
本当に良かったです。  
この81人の仲間たち、先生方、保護者の皆様方に感謝の心を忘れず、これから先も一致団結して生活していきたいです。学年目標である、「挑戦」の気持ちを忘れずに。

5月 23日

# 「気軽にスポーツを」 KSC主催のスポレク祭開かれる

かすみがうらスポーツレクリエーション祭（愛称・スポレク祭）が第1常陸野公園と千代田B&G海洋センター体育館で開催されました。主催は「KSCなかよしスポーツクラブ」と「KSCエンジョイスportsクラブ」。

野球場や多目的グラウンド、体育館でストラックアウト、フットサル、剣道、バドミントンなど20種以上のスポーツを実施。よさこいソーラン、太極拳など演舞披露があり、市民の目を楽しませました。  
スポーツの種目を体験しスタンプを集めると賞品がもらえるなど、スポーツを気軽に楽しめるよう工夫され、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに触れ合いその楽しさを体験した一日となりました。



【上】ターゲットバードゴルフの練習をする親子  
【下】ストラックアウトでパーフェクトを目指して



武田信玄軍と上杉謙信軍にわかれて、大川の風船を割る川中島の決戦を行う少年剣士

# 南中「立志」行事に 霞ヶ浦を自転車で一周

5月 16日

～100キロ完走でつかんだ自信と自覚～



南中学校（菅澤庄治校長）の2学年全81人が霞ヶ浦自転車一周という偉業を成し遂げました。これまでも取り組んできた「立志」行事の中で新たに挑んだ試練は、生徒にとって、霞ヶ浦の大きさに触れ、先生や保護者に見守られながら、仲間の大切さを再確認した忘れられない思い出となりました。

南中学校から土浦、阿見、美浦、稲敷、行方を経由し、霞ヶ浦大橋を渡って歩崎公園に9時間かけてゴール(下段写真4枚:大久保写真館撮影)

